# 水稻技術情報 N O − 10

令和4年6月29日 JA営農支援課

# 『生育は回復傾向 中干しの準備を』

## 1. 水稲の生育状況(あきたこまち)

前回の調査から気温が高く推移したため、葉齢から見た生育は平年並となっております。葉色については、6月上旬の低温や還元障害から回復し、土壌窒素の発現が急速に進んだため高い数値となっております。茎数については圃場間差が目立つものの、草丈や上位葉の葉姿等から全体的な生育は回復傾向にあり、生育が順調な圃場は茎数過多の圃場も見受けられます。

現在の生育と今後の週間天気から幼穂形成は平年並み(7/15頃)と予想されますので、各自の圃場状態を見回り、徐々に中干しの準備を進めてください。

水稲定点調査圃の生育状況(6月28日)※平年値は最高値と最低値を除いた過去10年の平均

| 品種(平均)    | 草丈(cm) |      | 茎数(本/m²) |     | 葉齢(葉)   |     | SPAD  |      |
|-----------|--------|------|----------|-----|---------|-----|-------|------|
|           | 本年     | 平年   | 本年       | 平年  | 本年      | 平年  | 本年    | 平年   |
| あきたこまち    | 38.9   | 39.2 | 358      | 346 | 8.8     | 8.8 | 46.6  | 44.0 |
| (慣行)      | 36.9   |      | 263      |     | 8.6     |     | 43.7  |      |
| (側条ペースト等) | 40.3   |      | 425      |     | 9.0     |     | 48.6  |      |
| 前年比       | 97 %   |      | 101 %    |     | -0.4 葉  |     | 109 % |      |
| 平年比       | 99 %   |      | 103 %    |     | +-0.0 葉 |     | 106 % |      |
| たつこもち     | 39.6   | 42.4 | 318      | 382 | 9.1     | 8.8 | 48.0  | 44.6 |
| きぬのはだ     | 39.7   | 40.3 | 319      | 428 | 9.1     | 9.2 | 43.8  | 42.3 |
| ときめきもち    | 36.2   | 38.5 | 325      | 404 | 9.2     | 8.9 | 46.5  | 42.8 |
| サキホコレ     | 40.6   | 34.1 | 464      | 402 | 9.6     | 9.1 | 48.9  | 44.5 |

### 2. 今後の技術対応

#### 1) 中干し

田植えの早い圃場や田植時に側条肥料を使用している圃場では、もち品種等で過剰分げつ気味の圃場も見られております。圃場を確認しながら**葉齢9葉を目安に中干し・溝切りに入ってください。** 

# 【中干しの効果】: ①無効茎の抑制 ②根の健全化 ③田面の硬化 等

### 2) 倒伏対策(出穂25~10日前)

中干し後でも「葉色が濃い」「茎数過剰」等により倒伏が心配される圃場は、つぎの薬剤で対応してください。

ロミカ粒剤1成分[2~3kg/10a、散布後5日間は湛水状態]

# 3)病害虫防除

## 【葉いもち病】

オリゼメート等の防除をされていない圃場では、7月中旬又は初発時に「コラトップ 粒剤」を散布する等の対策をしてください。

#### 【イナゴ】

本年はイナゴの発生が少なめですが、稲の食害が見られる場合は、畦畔沿いを主体につぎの薬剤で防除してください。

①「トレボン粉剤DL」 2~3kg/10a、②「トレボン乳剤」 1000倍~2000倍

#### ※ 圃場でばか苗が見えた場合の抜取りにご協力ください。

「水稲技術情報」https://www.ja-ogata.or.jp/farming2/をホームページで閲覧の際は、これまで必要だったパスワード入力なしで閲覧可能になりました。